

令和7年度 第3回 早島町地域公共交通会議議事録

日時：令和8年3月26日（木）午前10時～11時25分

会場：早島町役場3階 全員協議会室

1. 開会

2. 町長挨拶

◇町長

皆さまおはようございます。本日はご多忙のところ、令和7年度第3回早島町地域公共交通会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本町の公共交通行政の推進に対し、格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

さて、ご存知の方も多いかと思いますが、今月14日に早島駅がリニューアルされ、供用が開始されました。これまでの念願であった駅のバリアフリー化が実現し、どなたでも安心して利用できる環境が整ったところでございます。駅周辺の利便性向上が期待される中、公共交通のさらなる充実に向けた重要な契機であると考えております。

本町では今年度、地域公共交通計画の策定に向けた基礎調査として、町民アンケート調査などを実施し、移動実態やニーズ、課題の整理を進めてまいりました。また、今月には交通事業者へのヒアリングも行っております。

本日の議題は「公共交通に関するヒアリング調査について」及び「早島町の公共交通の課題等について」でございます。委員の皆さまには持続可能で利用しやすい公共交通体系の構築に向け、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 議題

◇事務局

本日、「地域公共交通会議」にご出席いただきました委員は、13名中12名の出席となっております。過半数の委員の方にご出席いただいておりますので、早島町地域公共交通会議設置要綱第5条第3項の規定により、本会議が成立することをご報告させていただきます。

それでは、会長に議事運営をお願いいたします。

会長：早速ですけども、次第に従いまして、会議を進めたいと思います。次第の3、議題の（1）公共交通に関するヒアリング調査について（資料1）となっております。事務局からご説明をお願いいたします。

(1) 公共交通に関するヒアリング調査について

〈事務局から資料について説明〉

◇質疑応答・意見

会長：ありがとうございました。ただいまのご説明内容に対して、何かご意見・ご質問・お気づきの点がございましたら、挙手にてお願いいたします。

例えば、交通事業者の課題のところで、バス停の間隔が短いこととバス車両への負荷が大きいということがありました。利便性を考えるとバス停間隔が短い方がよいけども、逆に事業者の視点からみると車体への影響も大きいというところ。トレードオフの関係もあります。今回の計画の中で検討していくことになると思います。また、中庄への便について、事務局から既に倉敷市に少し打診していただいたということですが、前回の公共交通会議でもかなりいろいろな意見が出ました。アンケート調査の中でも中庄への希望が強くございましたので、そのあたりも含めて何かご意見があればと思いますが、いかがでしょうか。

専門員：もう少し深掘りしていただいた方がよいのかなと思う点で、少し気になったのでご指摘させていただきます。交通事業者さんから課題として、運転者の高齢化があげられておりますが、これ自体はどの自治体も同じような状況で、新しく若い方が入ってこない、というような状況です。これから早島町の地域公共交通計画をつくっていく中で、もう少し掘り下げていただきたいのが、澤田交通さんと早島タクシーさんの運転者さんが、このままいけば恐らく高齢により退職されるという状況で、今のままであと何年くらい運転が持つのか、そういった具体のところも含めてご検討いただけたらと思います。地域公共交通を維持するうえでは、必ずドライバーが必要になりますので、そういったリミットのところも含めて検討していただきたいと思います。

事務局：ご意見ありがとうございます。今回はそこまでリミットのところを意識したヒアリングにはなっていなかったと思いますので、今後こういったことを再度お聞きして、交通計画に反映させていこうと思っております。

会長：この点は各自治体、各公共交通会議で同じような感じで検討されております。どういふうに新しい方を採用するかということも含めてご検討いただければと思います。

委員：大型バスの場合は大型二種免許が必要です。ジャンボタクシー等々、もう少しコンパクトにして、普通二種免許で乗れるような車両及び配置に変えていただけたらと思います。普通二種免許でしたら、若い運転手も乗れるようになります。また、コミュニティバスの乗車数は昼の時間帯はほぼ0に近く、ヒアリングのとおり、一方通行で駅に出るのに非常に時間がかかります。現状、平均年齢は73歳で、あと2~3年やれるかというところですが、明確にあと何年かは事業者として言えません。良いサイクルでまわっていますが、やはり運転手に何かあったときに、私も大型二種の免許を持っていますのでバスには乗れますが、常にはそういったフォローはできかねます。そのあたりは検討していただきたいなと思います。

委員：実際に2~3年ということですが、早急に対応が必要です。そのために、以前AIデマンドタクシーの実証実験をしてみたのですが、町民の方々にあまりご利用いただけません

でしたので、導入もしておりません。そういった点も含め、皆さまには忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。大型二種免許を持った運転手さんは、本当にあと2~3年で確保が難しくなるのでしょうか。

委員：大型二種免許を持った運転手さんは高齢化が進んでいます。長く勤めていただいているのですが、高齢化に伴い夜には見えにくいなどの問題が出てくるかと思えます。若い方の再就職が望ましいのですが、運転手さんの待遇面について、悪い待遇ではないけれども退職後の再就職で来てくださる方にはいいが、30~40代などの若い方には今の値段ではお願いできない状況です。また、16年前に初めてコミュニティバスの運行を受け始めたのですが、バスがよく壊れる。それも含めて大型二種免許対応車両でなくてもいいのではないかと思います。

委員：質問なのですが、白プレートの際は大型二種免許が必要でしょうか。大型二種免許を持つ運転手が本当にいません。給与面を考えた時に、家族がいる環境の中で、この賃金形態でコミュニティバスの仕事ができるかと言うと正直できないと思えます。給与待遇を上げようとするともた早島町の財政負担にもなってきます。やはり、65歳以上で年金をもらいながらする仕事になってきているのが現状です。ただ、運転手が本当にいない中で、貸切バスの業界では、60歳から65歳に雇用延長して、さらにいい人だったら70歳までという事業者も結構増えてきています。その中で、早島町のコミュニティバスに乗ってくださいというのは、魅力がどちらにあるかという部分を考えていただきたいです。二種免許を持っていない人に、新たに免許取得のために50万円出してね、というのもやはりしんどいです。白プレートで人を乗せることに対して、大型免許だけでいいのか、二種免許が必要なのかという部分を考えていただければと思います。今、大型だけの免許を持っていて、定年退職後にトラックは大変だけど、バスだったら何とか乗れますよっていう人も出てくるかもしれません。そういうところも踏まえて検討いただきたいなと思います。

会長：ありがとうございます。今のところ少し確認したいと思えます。白ナンバーで大型二種免許が必要なのかという点と、仮に二種免許を取る場合はどういう補助があり得るのかという点です。国交省か県かというところだと思いますが、いかがでしょうか。

専門員：早島町で運行しているコミュニティバスにつきましては、いわゆる運送事業の立て付けで運行しているものではなく、無償運行になっておりますので、緑ナンバーでは走っていないと思えます。緑ナンバー、いわゆる運送事業で走るときは、二種免許が必要です。これはタクシーであれ、バスであれ、同じです。正確に言いますと、早島町のコミュニティバスの運転手さんにつきましては、大型免許を持っていれば、要はバスの大きさの区分に応じた免許を持っていれば、運転は可能です。ですがやはり、安全面に関しては、二種免許を持つ方は、それなりの講習を受けて試験を通過してこられていますので、無料とはいえ旅客という点を踏まえると、二種免許を持っている方に運転していただくのが当然望ましいと思えます。早島町の委託要件の中に二種免許の部分が入っているならば、多分、安全面を考慮して、そういった方のドライバーでお願いします、ということになっているのではないかと思います。

会長：講習についての話も聞いたことがありますが、そのあたりはいかがでしょうか。

専門員：大型二種免許の取得、運転手さんを募集するためのチラシなどの経費に何か補助金を充

てられませんかということで、今、人材確保・DX 支援事業補助金を岡山県の方でやっております。それは、運転手募集のチラシ、大型二種免許講習の費用などについて、かかった経費の半分は補助するという制度です。その財源が国の経済対策からきており、年度ごとで予算の有無が変わりますが、ここ数年は予算がついているので、それで対応はできるかと思います。

会長：大型二種免許は必ずしも必要というわけではないが、本当はあった方がいいというお話と、二種免許を取得する場合は半額の補助があるということです。参考にさせていただければと思います。他に何かございますか。

委員：ヒアリングの結果を見ても、交通事業者、福祉分野、学校関係でも小型化を検討いただいているので、狭い道を安全に走行すること、また、免許の問題も鑑みると小型化も一つの方法かなと思います。前回の資料にあったように、利用者は非常に少ない人数ですので、いわゆるジャンボタクシーでも十分乗れるのではないかと思います。

会長：ありがとうございました。そのあたりは、今いくつかご意見いただいておりますけども、事務局の方で何かありますか。

事務局：ご意見ありがとうございます。先ほどいただいたご意見につきましては、次の議題の資料 2 として事務局としても課題として捉えております。このあたりは交通計画に記載のうえ、何かしらの施策を検討していく必要があると考えております。

会長：ありがとうございました。まず、次の議題を説明していただいて、最初の議題のものも含めて、次の議題の中で質問を受けたいと思っております。では、事務局の方で、(2) 早島町の公共交通の課題等について（資料 2）についてご説明をお願いいたします。

(2) 早島町の公共交通の課題等について（資料 2）

〈事務局から資料について説明〉

◇質疑応答・意見

会長：ありがとうございました。ただいまの説明に関しまして、何かご意見・ご質問ございましたらお願いいたします。来年度から新しく計画をつくっていくということで、前回までもいろいろご意見を伺っております。アンケート調査なども振り返りながら、やはりこの視点が大事だということを再度ご発言いただければ、事務局がしっかり考えていただけたらと思っております。いかがでしょうか。

専門員：ご説明ありがとうございました。早島町の方で今後交通計画を立てるということで、他の自治体の事例の資料を付けていただいて、いろいろご検討していただけたらと思います。実は岡山県の方でも、今年度、地域公共交通ビジョンというものを作成しており、3 月末にはホームページ等でお配りできる状態になります。また、このような会議でこちらからご説明させていただきたいと思っております。

会長：ありがとうございます。次年度以降、実際に公表されるということと、それに従った様々な施策を岡山県の中でも進めるということですので、そういうものを活用しながら早島

町の公共交通をうまくまわしていくことを期待しているということだと思います。

会長：資料9 ページ「コミュニティバスの利用実態から見えてきた課題」は、今日も含めて今までたくさんご意見が出ているところですが、本当にバスである必要があるのか、小型車両でいいのではないかとこのところもごさいます。ただ一方で、朝は容量オーバーになってしまうのではないかと、容量オーバーになると、もう1台走らせることが必要になり、結局、乗務員不足という問題が出てきます。いろいろなところでやっているものを見てみますと、定期的にたくさんの方が移動されるときにはやはり定時定路線、人が少なくなってきた時間帯は小型化、あるいは、最近だとAI デマンドを使ってよりドアツードアに近いものをやっているところが非常に多くなっておりまます。全時間帯でAI デマンドをやると、朝夕の時間帯でパンクしてしまい、とてもじゃないけど対応できないということが示されています。どちらか一方ではなく、どう組み合わせるのか、という視点で考えていただいた方が良くと思います。あとは、大型バスを残すとすると、二種免許の問題も出てくるので、そのあたりも考えどころだと思います。

委員：前回までの会議で、コミュニティバス、タクシーチケット、AI デマンドのことが出てきていたが、今回の会議にはタクシーチケットの件が入っていないような気がします。また、バスの小型化、デマンドの活用、生活交通と福祉交通の区別のことなど、いろいろな視点がありますが、そのあたりがどうまとまっているのか教えてほしいです。

委員：3月議会で、タクシーチケットは1回の乗車につき2枚までという制限を、来年度に限っては制限なしということにしました。なぜかと言いますと、公共交通の見直しをしている中で、タクシーチケットも生活交通と高齢者・障がい者福祉とを区別しないといけないからです。自ら運転できる方もいて、タクシーチケットを一律で配布する必要があるのかということも含めて検討していただきたいと思います。また、タクシーチケット、町内のコミュニティバス、町外への直行便の3つを全て行うのは、町の財政的にも難しいので、皆さまには忌憚のないご意見を出していただき、ある程度の方向性を示していただきたいと思います。よろしく願いいたします。来年度に限っては、タクシーチケットを1回の乗車につき制限なしで使えるように予算取りはいたしました。ただ、来年度以降のことに関しては、この会議でいろいろとお力添えをいただきながらやっていきたいと思っております。ご理解いただきたいと思ひます。よろしく願いいたします。

会長：来年度については、タクシーチケットを既に検討いただいているということだす。また、先ほどのご質問で、コミュニティバスとAI デマンド、小型化というところがありました。話が混乱しがちなのですが、大きく分けて言うと、路線や時刻が決まっている定時定路線で大型のバスを使うか小型車両を使うかについては、大型バスは朝の通勤・通学時間帯など、非常にたくさんの方が同時間帯に移動する際には残しておく必要があり、時間帯によっては小型化ができるのではという点があります。また、沿線に住んでいる人のみがい使いやすい定時定路線とは違い、より細かく乗降地や時間を指定するAI デマンドでは、タクシー車両などの小型車両を使い、幅広い地域の方の利便性を向上することができます。AI デマンドだと、利用者がおらず空気を運んでいるという状況にもなりません。どういふものを、どの時間帯に入れていけばいいのかというのを、この会議で来年度決めていこうと思ひます。選択肢としてはいろいろなものがあり、全部使う必要はないかもしれないし、どうやって組み合わせるのかを皆さんと一緒に決めていこうという会議です。

委員：11 ページ、まさに優先度をどう整理するかが非常に重要なことだと思います。公共交通を頼らざるを得ない人の生活を支えるべきであり、何でも「あればいい」ではなく、少し我慢してもらうことも必要だと思います。

会長：まさに、誰を、何を、どのような目的を優先するかというところ、ここの議論は必要だと思います。やはり 1 番困っていらっしゃる方が大事だというご意見でした。事務局いかがでしょうか。

事務局：ご意見いただきありがとうございます。公共交通計画を策定する上で、先ほどのご意見等を反映させたものを作っていくたいと思っています。

委員：つい先日、観光協会主催のイベントで竹あかりのワークショップを早島公園で開催しましてご好評いただきました。その時にご参加いただいたおそらく 80 歳前後の男性の方にお話をお伺いしたところ、茶屋町から電車でお越しになったそうです。免許返納を後悔しており、生活がすごく不便になり、これまで車で出来ていたことが途端に出来なくなったそうです。バスは乗ってもどこに行くか分からないと言われました。情報をどれだけ受け取って理解できるかは人によって違うので、そのあたりのサポートが大事ではないかと感じました。そういったことも議論に含めていただければと思います。

会長：ありがとうございます。非常に大事なところを指摘していただいたとっておりますけれども、事務局の方でこのあたりについて何かございますか。

事務局：ご意見ありがとうございます。役場にもバスの乗り方についてのお問い合わせをいただくことが結構あります。せっかくいいものをやっても、使い方がわからない方がいらっしゃるなら、もったいなく、いいものもご利用できてない状況にあるということになりますので、情報発信についても検討していきたいと思っています。

委員：11 ページ、「安全確保：小学生等の通学」と記載いただいたのは大変ありがたいなと思います。文科省の手引きでも 4km 以内は徒歩圏内という記載があり、私も小さい頃は歩いて行っていましたし、車で来るのは本当に松葉杖をついているような子だけだったなと記憶しています。ですが、今は暑さや治安の問題、保護者も朝仕事に行くのが早く、子どもが低学年でも 1 人で鍵を閉めて学校に行くような家庭もあるのが実情です。このあたりも生活が優先なのか、安全が優先なのか、生きるために何を一番に持っていくのかというところがなかなか難しいですが、何か綺麗な形で優先度が作れたらなと保護者を代表しまして思うところがあります。

会長：実際の生活体験からご意見いただきました。免許を持っていない方、いろいろ困っている方というと、高齢者を想像しやすいですが、実は免許を持っていないという意味では、子どもさんも当てはまります。子どもさん自体が困っているかということ、実は困っていることにまだ気がついていない面もありますし、それを支える親御さんが困っていることもあります。昔と違って共働きが普通になり、例えば習い事に行く、あるいは学童に預けていて迎えに行くのが親御さんにとって制約になっています。学童のお迎えに 6 時に来てくださいということになれば、渋滞も考慮して早めに仕事を切り上げないといけない、それを毎日毎日やると職場でも何となく雰囲気があるところもあり、結構困っている方もいらっしゃいます。他の自治体を見ると、学童から家へ帰るところも公共サービスでやっているところもございます。習い事も行きだけでも公共交通があると帰りは自分で迎えに行けるということもあります。移動に困

っているという視点では子どもも同じですので、考えてもいいのかなという気がいたしますし、費用的に大変すぎるということであれば、やめるということになるかもしれません。実はいろいろなものが可能性としてあって、一旦検討して、何を優先するかということ判断していただければと思います。事務局の方で何かございましたら、よろしくをお願いします。

事務局：ご意見ありがとうございます。保護者の方の思いもよく分かります。私も子どもの頃は歩いていましたが、暑さや寒さもその時代とは違います。総合計画でもワークショップをしております、学校教育関係のことも保護者の方にお聞きしています。その中で、やはり暑いときにはコミュニティバスに乗せてほしい、交通渋滞があり歩いて行かせるのは心配というご意見もありました。そのあたりのことも含めて、会長がおっしゃられたように、どこまで施策としてやっていけるかは教育委員会とも協議が必要だと思えます。そのあたりのご意見があることを事務局としても把握しており、今後、計画を作る中でいろいろと検討をしていきたいものの一つであると思っております。

委員：小学生でバスが満員になり、時間帯によっては一般の方が乗れない事例が出てきているのは事実です。一方で、バスが通っていない区域からすると、やはり不公平感はないと思えます。暑い中、頑張って坂を上って通学している子もいます。また、通学を支援するのであれば、小学校1～3年までなど、区分けが必要ではないかと思えます。そうすれば小学生の利用者は減り、一般の方への影響も減ります。また、小型化を検討するのであれば、今まで便利に使っていた子どもの保護者からの反対は絶対であり、今まであったものがなくなることに關してのリスクはあると思えます。

会長：ありがとうございます。実際に運行する上での課題も含めてご発言いただきました。事務局何かございますか。

事務局：ご意見ありがとうございます。子どもの通学については、教育委員会の方針、学校の方針等もありますので、そのあたりも含めて検討が必要だと思っております。朝の時間帯が大変乗られる方が多く、その中でも子どもが多いということも把握できております。どのような手段でやっていくのかは来年度以降考えていかなければならないことだと把握しております。いろいろな部署と協議しながら進めていけたらと思っております。ありがとうございます。

4. その他

◇会長

最後に、その他として何かございますか。

◇町長

先ほど申し上げましたように、来年度に限っては、タクシーチケットを1回の利用枚数制限なしで使っていただけるようにしています。現在、いろいろ議論していただいておりますが、公共交通の再編は本当に難しい問題だと思えます。町議会議員の方々から地域公共交通会議への参加希望がありました。最高2名までとして、会議に参加させていただいてもよろしいでしょ

うか。ご理解いただけますでしょうか。

<意見なし>

◇町長

ありがとうございます。まだ誰が参加するかは決まっていないのですが、次回から、2名を限度として参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

◇委員

警察の方へお伝えしたいです。4月から道路交通法が非常に厳しくなります。自転車を追いつく際は1.5m以上空けないといけないということですが、早島町は道が非常に狭いです。もう1点が、早島駅前が非常に綺麗になりましたが、タクシー乗り場がちょうどカーブのところにあり、2台止められますが、朝夕は送迎の自家用車が非常に多く、かなり混雑します。タクシー乗り場にタクシーを停車させていても、自家用車の方々からお叱りを受けることもあります。立て看板等で自家用車を西側へ誘導するわけにはいかないでしょうか。事故が起こってからでは遅いので、警察の方で難しければ、町の方でなんとかできないでしょうか。

◇町長

検討させていただきます。

◇委員

タクシーチケットの注意書きは小さすぎて見えないので、必要なことを大きな字で書いていただきたいです。

◇町長

検討させていただきます。

5. 閉会